

◇ 大切にしたい基本姿勢 ◇

◇ 次代のいわきを担う  
「生きる力」を身に付けた子どもの育成◇  
夢に向かってチャレンジする子ども

**【教育目標】**  
**進んで学ぶ子ども ・ 思いやりのある子ども ・ 健康でたくましい子ども**  
 合言葉 《夢、希望・気づく・考える・行動する・変わる》

- 子どもの命（心と体）を守る安全な学校
- 認め合う・支え合う・高め合う児童・教職員
- 家庭・地域とつながる学校
- 教職員・保護者が子どもの成長を共に喜ぶ学校

【学力の向上】

**進んで学ぶ子ども**  
 確かな学力を身につけ協働して課題を解決する子ども

- 見通しをもって粘り強く学習に向かうことができる。
- 自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
- ◎ 相手の考えを尊重し、理解しようとして聞くことができる。
- 学びを振り返り、次の学習につなげることができる。

【豊かな心・社会性の育成】

**思いやりのある子ども**  
 互いのよさを見つけ思いやりがあり親かな子ども

- 時と場に応じたさわやかなあいさつができる。
- ルールを守ってみんなのために奉仕することができる。
- ◎ 相手の気持ちを考え、思いやりをもって接することができる。
- めあてをもって最後までやり抜くことができる。

【健康・安全・体力・レジリエンスの向上】

**健康でたくましい子ども**  
 基本的な生活習慣を身につけ心身ともに健康でたくましい子ども

- 体力を向上させ、元気に生活することができる。
- 健康の理解を深め、よい生活習慣を身に付けることができる。
- 食の理解に努め、感謝の心をもつことができる。
- ◎ 安全に留意し、規則正しい生活をするすることができる。

<実践内容>

- 1 きめ細やかな指導で学習内容を定着させます。
  - ・ 「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業の充実
  - ・ ファシリテート（引き出す・決めさせる）の工夫
  - ・ ICTを活用した授業の充実（デジタル教科書、タブレット端末の活用）
  - ・ “振り返りの時間”の確保と変容の自覚
- 2 思考・判断・表現力を向上させます。
  - ・ 単元構成（学習課題・学習過程）の工夫
  - ・ 言語活動の場面設定の工夫
  - ・ 考えを表現する言葉の習得（音読、新聞活用、読書習慣づくり）
  - ・ 双方向に考えを交流する場の工夫
  - ・ （根拠を明確にして話す、意図を考えながら聞く）
  - ・ 読書活動の充実（図書館司書との連携、読書フェス、）
- 3 学校・家庭での学習の習慣化を図ります。
  - ・ 学習のきまりの意識付け
  - ・ 家庭学習の課題の工夫（授業とのリンク、個に応じた課題、自主学習）
  - ・ 家庭との連携（家庭学習プログラム）

<評価・チェック項目>

- ◇ 学習内容が定着している。
  - ・ 単元テスト、NRT（国語科、算数科）、
  - ・ 「授業スタンダード」チェックシート（学期1回）、ABCシート
- ◇ 自分の考えをもち、相手に分かるように書いたり話したり、相手の話を集中して聞いたりすることができる。
  - ・ ノートの提出、授業中での観察
- ◇ 進んで読書に取り組んでいる。・ 読書カード ・ 図書への貸し出し数
- ◇ 家庭学習に自主的に取り組んでいる。（学年×10分+20分）
  - ・ 家庭学習カードへの記入（毎日記入、月や学期ごとの反省）

<実践内容>

- 1 道徳科・特別活動を核とした道徳教育の充実を図ります。
  - ・ 「考え、議論する道徳」の充実と重点価値の設定（節度・節制、親切・思いやり、規則の尊重、生命の尊さ）
  - ・ 地域を生かした体験活動での道徳実践の充実、道徳授業公開の推進
  - ・ 学級活動や委員会活動での合意形成
- 2 自分を生かし、互いのよさを認め合う集団活動を充実させます。
  - ・ 学級や縦割り班（異年齢集団）での主体的な活動の充実
  - ・ 生徒指導の機能を生かした活動の充実（自己決定の場、自己存在感、共感的な人間関係）
  - ・ 交流及び共同学習の充実
  - ・ 成長の振り返り（よさを認め合う場、メタ認知力、自己有用感、キャリア形成、居場所づくり）
- 3 規律ある態度を育成します。
  - ・ 「けじめのある生活、言葉遣いや挨拶、返事、約束やきまりを守る」の意識化と実践（家庭との連携）

<評価・チェック項目>

- ◇ 体験活動などを通して、あいさつや温かい交流をすることができる。
- ◇ 感想文や日記、記録文、写真記録やホームページの様子、お礼の言葉やお礼状などから
- ◇ 自他を理解し認め合い、誰とでも協力することができる。
- ◇ 縦割り班の様子、委員会活動やクラブ活動の様子、振り返りシート、学校アンケート等から
- ◇ 進んであいさつし、決まりを守って生活することができる。
- ◇ 振り返りシート、学校アンケート、帰りの会の振り返り等から

<実践内容>

- 1 基本的な生活習慣と健康な生活を確立させます。
  - ・ 講師等を活用した食育の推進
  - ・ TT健康教育（歯磨き指導など）と発育測定結果の活用（自分手帳の活用）
  - ・ 家庭への啓発と連携による望ましい生活習慣づくり
  - ・ 感染予防のための衛生・健康習慣づくり
- 2 危険回避能力育成のための安全教育を充実させます。
  - ・ 交通安全、防犯教育の充実（地域との連携）
  - ・ 防災・減災教育の推進（震災・火災・水害等）
  - ・ 情報モラル教育の推進（ネットトラブル等）
- 3 体力、運動能力を向上させます。
  - ・ 運動身体づくりプログラムの実践と継続
  - ・ 自己目標をもたせた体育科授業の実践（自分手帳の活用）
  - ・ 業間運動や外遊び等の運動に親しむ機会の充実と継続

<評価・チェック項目>

- ◇ 早寝・早起き・朝ごはんが身に付いている。
  - ・ 年2回の朝食について見直そう、週1回の生活習慣チェック
- ◇ ハンカチ・ティッシュ・マスクを身に付けている。
  - ・ 毎週水曜日の清潔検査（コロナ禍対策期間中は各学級の実施）
  - ・ 手指消毒の継続
- ◇ 各種行事の振り返りを通して、安全意識を高めることができる。
- ◇ 避難訓練・交通教室・防犯教室等
  - ・ 実施内容や感想を学年だより等で発信
- ◇ 各種校内記録会などで自己目標を上回っている。
  - ・ 記録カードや学習カードの活用
- ◇ 体力テストの数値が、県平均を上回っている。
  - ・ 自分手帳（4年生以上）の活用

<学校・家庭・地域が一体となった教育の実現>

【よきパートナー】

家庭・関係機関「学校への熱い思い」

【和と協働】

教職員「最大の教育環境は教師」

【地域に輝くよしまっ子】

地域・学区「地域があり学校がある」

- 学校からの情報発信、家庭との連携・協力を努めます。
  - ・ 学校評価アンケート（11月）、学校だより、学年だより、HP
- 授業公開や教育相談の充実を努めます。
  - 家庭訪問（5月・随時）、個別懇談（6月・随時）
  - ・ 授業参観（年3回）、ふくしま教育週間
- 家庭と連携し、生活・学習習慣づくりを進めます。

- 教師の同僚性を構築し、指導力の向上を図ります。
- 教育専門職としての使命感・重責を自覚し研修に励みます。
- 伸びや頑張りをはめ認めることで、子どもの向上心を育みます。
- 教師・子ども・保護者が互いに支え合う学級づくりに努めます。
- 教育相談の充実を努め、積極的な生徒指導を推進します。
- 「好間一小は今年も不祥事ゼロ」の継続に全力で立ち向かいます。

- 子どもたちの活動に地域の教育力を積極的に取り入れます。
  - 地域の教育資源 / 人材の活用
- 地域と協力して子どもの安全を守ります。
  - 交通安全協会や交通安全母の会、見守り隊等との連携
- 中学校や幼稚園等との教育連携を密にします。
  - 保幼小・小小・小中連携、教育活動の交流、共同実践/研修